

◆学校だより◆

Obihiro Kashiwa Elementary School

かしわ



帯広市立柏小学校

開校 / 大正10 (1921) 年

強く 正しく

明るく 清く

平成29年12月1日 20号

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果を受けて

学力について

(全国平均正答率を100とした時の比較)

- ◆ 帯広市立柏小学校
- ▲ 北海道(公立)
- ✕ 全国(公立)

国語A(話すこと・聞くこと)

算数B(数量関係)

国語A(書くこと)

算数B(図形)

国語A(読むこと)

【算数B】図形の問題に課題がある

算数B(量と測定)

国語A(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

算数B(数と計算)

国語B(話すこと・聞くこと)

算数A(数量関係)

国語B(書くこと)

【国語B】読むことの問題に課題がある

算数A(図形)

国語B(読むこと)

算数A(量と測定)

算数A(数と計算)

リーダーチャートで柏小と全国・全道を比較してみます。

国語A <主として知識>

△「書くこと」「読むこと」の領域以外、全国・全道の平均正答率より上回っています。

○「漢字を書いたり読んだりする」問題は、全国・全道より大きく上回っているものが多いです。

●手紙の書き方では、普段から手紙を書くときに、形式を重視し書いていくことが大切になります。

国語B <主として活用>

△「読むこと」の領域では、全国・全道の平均正答率より下回っています。

○「話す・聞く」「書くこと」の領域では、全国・全道の平均正答率を上回りました。

●問題文が長くなると正答率が低くなったり、無回答が多くなったりといった課題が見られます。

算数A <主として知識>

○どの領域においても、全国平均正答率より上回っています。

●位取りを意識した計算の仕方、問題場面を数直線に表すといった設問については課題が見られます。

算数B <主として活用>

△すべての領域で、全国平均正答率より若干下回っています。

●算数以外の教科でも、資料や問題文をしっかりと読む体験を重ねることが大切です。

学習状況について

全国・全道と比べると・・・



- 規範意識が高く、良好な家庭生活・学校生活を送っています。
- 新聞を読んだり、テレビのニュースを見たりと社会に関心を持ち、地域行事の参加が高いことも特徴的です。
- 自尊感情が高まり、物事をやり遂げたあとの充実感を感じています。
- 授業では、主体的に学習に取り組んでいる児童の割合が高いです。
- 毎日、同じ時刻に起きていると答えた児童が少ない傾向にあります。
- 与えられた宿題にはしっかりと取り組んでいる児童は多いですが、自主的・計画的な家庭学習に課題が残ります。



学校では・・・

- ①基礎・基本の確実な定着
 - ・朝学習や家庭学習で、漢字や計算の反復練習
 - ・放課後学習の場、柏っ子教室
- ②わかる授業づくり
 - ・1時間の課題とまとめが明確な授業
 - ・少人数指導や習熟度別指導など複数の教師による個に応じた授業
- ③学習規律や学習習慣の定着
 - ・柏スタンダード（学習のきまり）の更なる徹底と話の聞き方を指導
 - ・家庭学習の取組奨励とあたたかい評価（児童への励まし）

生活リズムを整え

家庭での学習時間を確保

そこで

家庭では・・・



- ①机に向かう時間の確保
 - ・「10分間×学年＋宿題」を目標に！
 - ・時間帯を決めて毎日継続（保護者の声かけが大切）
- ②テレビやゲームの時間を決める
 - ・自分の生活を振り返り、視聴時間を再確認（生活リズムシートの活用）
 - ・テレビやゲームの時間を減らして、家庭学習や読書の時間に（ストップ・ザ・見放題、家読）
- ③心がふれあう時間の確保
 - ・1日一回は学校の話をするなど、子どもの気持ちに寄り添う時間を
 - ・子どものがんばりやよいところを認め、ほめる
 - ・地域の行事に積極的に参加

学校と家庭の連携で学力UP！～机に向かう習慣を～